

東胆振唯一の有床泌尿器科・透析クリニック 専門医による広域的な医療サービスを提供



36床に増床した透析センターの内部



大型の透析センターを備えたクリニック



院長 林 謙治

札幌医科大学卒業。同大泌尿器科助手を経て北見赤十字病院泌尿器科医長、苫小牧王子総合病院泌尿器科主任科長を経て、1995年苫小牧泌尿器科クリニックを開業。泌尿器科専門医。日本性感染症学会認定医。日本透析学会、日本性感染症学会各会員。インфекションコントロールドクター。医学博士。主な著書には「人に聞けない前立腺・泌尿器の問題と解決」（ハート出版）などがある。

こうした手厚い体制による診療は、大きな成果を収めてきた。前立腺肥大症の前立腺高温治療、尿路結石症には内視鏡を用いたレーザーによる結石破碎治療や体外衝撃波による碎石手術など、最新の治療法や手術にも定評

にある。さらに、近隣町とも連携した泌尿器ドック、前立腺がん検診といった地道な活動も実を結び、受診者の約1.5%から、早期のがん発見にもつなげた。

泌尿器科は専門医複数体制。デジタル内視鏡、X線テレビ撮影装置、エコーなどに加え、ヘリカルCT（マルチスライスCT）、医療用画像管理システム（PACS）を導入。最新の医療機器を備え、的確な診断の下、最適の治療を行っている。

開業から20年が過ぎた当院は全道に先駆けて、泌尿器ドックや前立腺がん検診を実施し、疾患の早期発見と早期治療に寄与してきた。併設の腎透析センターでは、高齢化などに伴うADL（日常生活動作）の低下予防対策にも積極的に取り組み、苫小牧市内のみならず東胆振の地域医療推進にも貢献している。

食生活の欧米化、著しい高齢化の進展などに伴い、前立腺肥大症や前立腺がん、尿路結石症、慢性腎不全など泌尿器科疾患の増加が近年、大きくクローズアップされている。

当院は、東胆振地域で唯一19床の有床泌尿器科クリニック。併設された腎透析センターは透析ベッドを最大36床に拡大。市外からの来院も多く、自力での通院が困難な場合には3台の車両で送迎サービスも。透析治療中は併せて、ADL低下を防ぐためのリハビリにも力を注ぐ。寝たままでも自転車こぎ動作ができる仰臥位用エルゴメーターを使った運動を行った後、理学療法士によるマッサージやストレッチを実施。患者さんからは食欲の増進や下肢の血行が改善した、と好評だ。希望により、長期の入院透析にも対応している。

内科循環器科は、高血圧、糖尿病、慢性腎臓病などで経験豊富な医師が診療に携わっている。「信頼と優しさをモットーに、今後も患者さんに親身な医療を提供していきたい」と林院長は話している。

当院は、東胆振地域で唯一19床の有床泌尿器科クリニック。併設された腎透析センターは透析ベッドを最大36床に拡大。市外からの来院も多く、自力での通院が困難な場合には3台の車両で送迎サービスも。透析治療中は併せて、ADL低下を防ぐためのリハビリにも力を注ぐ。寝たままでも自転車こぎ動作ができる仰臥位用エルゴメーターを使った運動を行った後、理学療法士によるマッサージやストレッチを実施。患者さんからは食欲の増進や下肢の血行が改善した、と好評だ。希望により、長期の入院透析にも対応している。

当院は、東胆振地域で唯一19床の有床泌尿器科クリニック。併設された腎透析センターは透析ベッドを最大36床に拡大。市外からの来院も多く、自力での通院が困難な場合には3台の車両で送迎サービスも。透析治療中は併せて、ADL低下を防ぐためのリハビリにも力を注ぐ。寝たままでも自転車こぎ動作ができる仰臥位用エルゴメーターを使った運動を行った後、理学療法士によるマッサージやストレッチを実施。患者さんからは食欲の増進や下肢の血行が改善した、と好評だ。希望により、長期の入院透析にも対応している。

泌尿器科・内科・循環器科・人工透析・皮膚科

医療法人社団

苫小牧泌尿器科・循環器内科

苫小牧市明野新町2丁目1番12号 ☎(0144)57-0455

ホームページ <http://www.tomakomai.or.jp/kawara/tuc/>

診療時間／
泌尿器科 平日/8:30~12:00 13:30~17:00
土/8:30~12:00
内科 火・金/8:30~12:00 13:30~17:00
循環器科 土/8:30~12:00
皮膚科 火・木の午後と土は休診
休診日/日・祝日

